1　国語

学校番号	3006

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ	単位数	２	年次	３
使用教科書	現代文Ａ改訂版　（大修館書店）						
副教材等	改訂版漢字とことば　国語学習課題（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では社会人となるために具体的に必要な力を養うことを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・副教材を活用して社会常識や語彙力を身につけ、入社試験、入学試験にも落ち着いて対応できるようにしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・様々な文章を読んで、その内容や表現をとらえていく。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・身につけた力を実際の場面で発揮して希望の進路実現につなげる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

楽器	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
一学期	短詩形文学を味わう	教材: 「山月記」	○	◎	○	a:・漢文調の文章に関心を持ち、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。作品に親しもうとしている。 ・音読などを通じ、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:本文の内容を理解し、物語の展開をつかんでいる。 ・登場人物の行動と心情を読み取っている。 ・作品の主題について考えようとする。 c:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認及び定期考査
	自己アピール文を書く	教材: ワークブック「漢字とことば	○		◎	a:・自分のことを客観的にとらえようとしている。 c:ワークブック等で身につけた知識を利用して正しい言葉遣いや漢字を書こうとする。	a、c:行動の観察及び記述の点検
	評論文の構成を知る	教材: 「人工の自然 ―科学技術時代の今をいきるために―」	○	◎	○	a:・評論文の構成を解しようとする。 b:・段落のまとまりで、内容をとらえている。 ・筆者の主張を正しく理解している。 c:・新出語句を自分の語彙として身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
二学期	語彙力を高め活用する	教材: ワークブック「漢字とことば」	○		○	a:新しい語彙を身につけようとしている。 c: 自信を持って採用試験等に臨む。	a:行動の観察及び記述の点検 c:小テスト及び定期考査

二学期	小説に親しむ	教材 「ざしきわらし」	○	◎	○	a:人物、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、現代小説に親しむ。。 b:・人物の心情を味わい、鑑賞する。 ・作品の主題を理解する。 c:・実生活で役立つ語句、漢字、慣用表現等を理解し、身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認及び定期考査
	文章を通し文化に興味を持つ	教材: 「ものとことば」	○	◎	○	a：・評論文の構成・論旨を理解しようとする。 b：・筆者の主張を正しく理解している。 ・文章を通して、言語文化に興味を持ち、理解を深める。 c：・新出語句を自分の語彙として身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認及び定期考査
三学期	小説の内容を理解し鑑賞する	教材: 「高瀬舟」	○	◎	○	a:・文章に関心を持ち、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。作品に親しもうとしている。 ・作者の他の作品についても関心を持つ。 b:時代設定や背景を理解し、物語の展開を把握している。 ・登場人物の行動と心情を読み取っている。 ・作品の主題について考えようとしている。 c：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認と分析及び定期考査
	評論を通し考えを深める	教材: 「考える葦」	○	◎	○	a：・評論文の構成・論旨を理解しようとする。 b：・本文中で使われる語句の定義をそれぞれ区別して理解している。 ・情報化社会に対する作者の考えについて理解を深める。 c：・新出語句を自分の語彙として身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。